

グローバル社会における日本の役割

日本経済社会は、1990年初頭のバブル崩壊以降大きなパラダイム・シフトに直面しています。近代国家の建設を目指した「坂の上の雲」(司馬 遼太郎著)、高度経済成長を目指した「官僚たちの夏」(城山三郎著)を超えた新しい展望を描くことが求められています。このためには、日本が辿った近現代の歴史を検証し、今日における私たちの立ち位置を求めていかなければならないのではないのでしょうか。

【今回のアジア交流セミナーの内容】

1. 日本は明治維新、戦後改革に続く第3の開国を迎えているといわれています。
2. 一方、世界は、かつての先進国G7を中心としたものから、発展途上国を含めたG20の世界に確実に移っています。
3. そこで、日本の近現代史(明治維新と戦後発展)の推移を概括し、グローバル社会における日本の役割、とりわけ発展途上国(中国、アジア・アフリカ諸国)との関係を考えてみたいと思います

講師

井出 亜夫氏

日中管理学院アジア交流塾塾長、国際善隣協会監事
国際アジア共同体学会理事



【経歴】

東京大学経済学部卒 英国サセックス大学経済学修士
1967年通産省入省1999年退官
この間OECD日本政府代表部参事官、中小企業庁小規模企業部長、日本銀行政策委員、
経済企画庁国民生活局長、経済企画審議官(OECD経済政策委員会日本政府代表)等歴任
1999~2011年:慶応義塾大学教授同客員教授
2005年~2013年日本大学大学院グローバル・ビジネス研究科教授
1999年~2004年中国の発展と環境に関する国際委員会(CCICD)WG議長

【著書・論文】

著書:「アジアのエネルギー・環境と経済発展」(2004年、慶応大学出版会 共著)、「日中韓FTA」(2008年、日本経済評論社 共著)、「世界の中の日本の役割を考える」(2009年、慶応大学出版会 共著)
論文:わが国民法の法人制度とNPO法の制定(2000年 学士会報)「How to Rectify Unfair Trade Practices and to Establish Appropriate Supply Chains and Better Business Culture under the Global Market Economy」(Pacific Economic Review December 2009)、日本経済社会のパラダイム・シフト(政治社会論叢2012第1号)

日時:2015年9月29日(火) 18:30~20:00

次第:挨拶 日中管理学院(株)代表取締役社長 山尾幸弘

講演 グローバル社会における日本の役割

日中管理学院 アジア交流塾塾長 井出亜夫

質疑応答

※ 終了後に実費にて懇親会を開催します。

司会:日中管理学院 事業部長 魚屋将

場所:日中管理学院(株)セミナールーム(最寄駅:麹町駅)

受講料:無料 ※ 懇親会参加者は1000円

※ 定員50名で、申し込みが50名に達した場合には、先着50名で締切させていただきます。
※ ご連絡なくご欠席されると他の参加希望者の機会が奪われます。懇親会参加予定の方の場合は実費を請求する場合があります。

【アクセスマップ】



東京都千代田区麹町4-8
麹町クリスタルシティ6階

お申込み
お問合せ

TEL 03-3556-4281

(受付時間:平日10:00~17:00、土日祝休)



info@jc-ms.com

担当:孟(モウ)